

## 平成25年7月20日（土）の「仏教女性の集い」

祇園祭のハイライト山鉾巡行も終わり、夏本番の京都です。今回も大勢の参加者によって「仏教女性の集い」は始まりました。



アガパンサスに彩られた如来様



今日の御法話は、法然上人御法語後篇 第21「随順仏教」

—参加者感想—

「仏の教えに従う」諸悪莫作 衆善奉行 もろもろの悪を為す事なかれ。いろいろの善を行いなさい。自浄其意 是諸仏教 自らの心を清め行く、これが諸々の仏の教えです。

これは仏教の根幹である七仏通誡の偈で説かれています。口で言うのは容易な事でも実践して行くことは大変な事です。慈悲を持って喜びを慈しみ、悲しみは取り除く。良いことはして、悪いことはしない。良き地に良き種を蒔くように言葉に出来ないものを言葉にしていく。

法然上人も同じように仏の国へ導き行けるように「南無阿弥陀仏」の教えを説かれています。

他人から非難されてもこれだと覚悟をもって説かれた一念（念仏）に生きていく。

瞬間、瞬間、その時が一番大切であり、今、今、今の命を燃やして行く一念（念仏）をする。生きるということは、今しかないと思ってする念仏は元気が出ます。年を取れば取るほど感じ取れる念仏はありがたい事です。

最後にあるドイツ人の住職がサッカーに例えて言われた事例を、「日本人はパスをするのは上手だけれど、決意を持ってシュートをするのが下手である」と、智に棹差せば角が立つ、情に棹差せば流される。と言われますが、何か決意を持って欲しいですねと、ご法話は終えられました。お話の中で、机を強くポンと叩かれて「この瞬間なのです。過去は過ぎ去っている。未来はまだ来ない。この今ですよ」と話される先生の力強いお言葉に私はエネルギーを頂きました。

参加者 K.O

今日のお菓子のご銘は《すだれ》です。

参加者の方からのおもたせのお菓子もあり、一同喜びの顔で座談会へと移りました。



お菓子 すだれ



おもたせのお菓子

座談会では、初めて参加された方の中に、街中で貼られていた「仏教女性の集い」のポスターをご覧になられて興味を持ちました。とされている方がいらっしゃいました。参加された感想は、「日常から離れた世界に驚きました」と話されておりました。ほっこりしたいと思える場所として今後も参加して頂ければと思います。今、10代の方が簡単に命を奪ったり、落としたり「命」と言うものを粗末に考えすぎている。如何したことでしょう・・・と参加者の質問に近藤先生は、親達の子供に向ける目が無くなって来ている。忙しい、忙しいと言って自分の事で精一杯になってしまい、子供達をほったらかしになった結果、管理出来なくなってしまっています。子供は親の為す姿を後ろから見ています。「どうぞ、皆さんが世の中の光になってあげてください」と先生は締め括られました。



車座になって座談会は行なわれます

次回の「仏教女性の集い」は9月14日です。

(今回は変則で第2土曜日となります)

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、一時～四時 市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩150m 『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場)で開催致しております。

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載致しております。

<http://jodo.or.jp/yoshimizu/tudoi.html>

参加費1,000円 宗教・宗派は問いません。条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで